

ナボコフのロシア語小説『絶望』(1934)は、しかしこの作品は「分身」というプロットとして、ナボコフがバイリンガル作家であるという点から、ナボコフの「重世界」(ダブル・ワールド)という二重性の意味が、この作品に溢れています。面から紹介されます。

ナボコフの『絶望』とダブルワールド

参加
無料

2018年 **6月27日** 水

講演者 諫早 勇一 (世界教養学科 教授)

時間 10:50~12:20

場所 名古屋外国語大学 図書館5階 多目的室

主催 名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

共催 創立30周年記念事業委員会

対象 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学
学生、教職員、一般市民など

世界の文豪シリーズ

次回以降の予定

第2回 ディケンズ *Charles Dickens*

講演者 甲斐 清高 (英米語学科 准教授)

開催時期 10月

第3回 プルースト *Marcel Proust*

講演者 林 良児 (フランス語学科 教授)

開催時期 11月

第4回 フォークナー *William Faulkner*

講演者 梅垣 昌子 (英米語学科 教授)

開催時期 12月

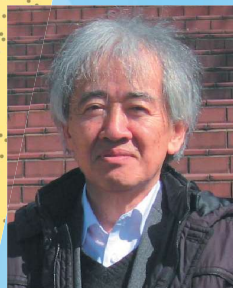
第5回 マルケス *Gabriel García Márquez*

講演者 野谷 文昭 (世界教養学科 教授)

開催時期 1月

諫早 勇一

1948年茨城県生まれ。東京大学教養学部教養学科(ロシア分科)卒業。1974年同大学院人文科学研究科(比較文学比較文化)博士課程中途退学。2017年10月現在、名古屋外国語大学外国語学部世界教養学科教授。専攻は近代ロシア文学、とくにロシア亡命文学。著書に、『ロシア人たちのベルリン 革命と大量亡命の時代』(東洋書店)、訳書に『ナボコフ伝・上下』(みすず書房)、『ナボコフ全短篇』(作品社、共訳)、『ナボコフ・コレクション マーシェンカ/キング、クイーン、ジャック』(新潮社、共訳)など。2016年度日本ロシア文学会大賞受賞。



■ 申込み方法

当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

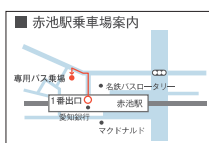
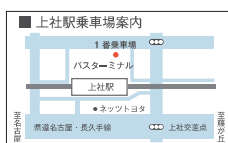
<https://req.qubo.jp/wlac/form/20180627>



■ 本学へのアクセスについて ■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

0561-75-2164

wlac_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。